

寄 面 鬼 面 樹 面 氣 面 季 面 面



着面 揮面 汽面 季面
 喜面 奇面 基面
 鬼面 忌面 木面
 黄面 季面 飢面
 寄面 起面 規面 既面
 稀面 生面 氣面 危面
 軌面 樹面

「季面」 撮影：山本 糾

2017. 8.19 (土) ▷ 9.10 (日)

【開館時間】 10:00 ~ 18:00 (入館は 17:30 まで)

【入館料】 一般 300 円、高校生 200 円、小中学生 100 円 (洞爺湖町民無料) ※その他割引あり

【休館日】 8/21 (月)、8/28 (月)、9/4 (月)、9/8 (金)

◆ 8/19 (土)、8/26 (土) は、イベントのため一部ご鑑賞になれません ◆



洞爺湖芸術館

TOYAKO MUSEUM OF ART

〒049-5802 虻田郡洞爺湖町洞爺町 96
TEL 0142-87-2525 <http://www.geijutukan.net>

[主催] 洞爺湖芸術館 [共催] 洞爺湖町
[協力] 洞爺観光ホテル・(株)高橋建設・洞爺温泉病院・伝建設(株)・
伊達信用金庫・高清水建設(株)・乃の風リゾート・幸清会

2017 ビッキ週間

「きめん」 集合！

ビッキは 1975 年頃からたくさんの木のお面、きめんシリーズを制作しています。そして「き」に相当する漢字が「木」「氣」「季」「樹」「寄」等たくさんあることから、それぞれの漢字の「き」から受けるイメージを作品に投影させました。今回は当館所蔵の季面の他、数ある「きめん」の中から選りすぐりの作品を展示します。遊び心あふれる作品をご鑑賞ください。



撮影：井上 浩二

砂澤ビッキ

北海道旭川市出身

初期には阿寒湖畔と鎌倉、その後札幌を制作の拠点としたが、1978 年からは音威子府村箴島（おさしま）の小学校跡にアトリエを構え、亡くなるまでの十余年、精力的に木彫作品の制作を行った。

【略年譜】

- 1931 年 旭川市に生まれる。本名は恒雄（ひさお）、ビッキは幼少時からの愛称。
- 1952 年 上京、独学で絵画・彫刻を学ぶ。
- 1955 年 モダンアート協会展（東京）入選。
- 1959 年 北海道に戻り、以降東京を中心に個展を開催。
- 1983 年 カナダに留学。
- 1989 年 神奈川県立県民ホール「現代作家シリーズ'89 上野憲男・砂澤ビッキ・吹田文明展」1月22日のオープニングに病をおして出席。
1月25日 札幌にて没（享年 57 歳）



「氣面」（上）、「鬼面」（下）
撮影：山本 糾

ビッキの好きなカンツォーネ

出演 メゾソプラノ・加藤 亮子 氏、ピアノ伴奏・河津 悦子 氏

ビッキが大好きだった音楽は、意外なことにカンツォーネだったとか。いつもラジカセでパヴァロッティなどを聴き、それに合わせて大声で歌うのが常だったそうです。そんなビッキを想いながら、今回はビッキの部屋でカンツォーネの会を催します。

日時：8月19日（土）午後2時～

場所：洞爺湖芸術館 1階ビッキアトリエ

料金：無料（要入館料）

定員：50名（先着順）

ギャラリートーク「ある日の砂澤ビッキ」

講師 酒井 忠康 氏（世田谷美術館館長）

日時：8月26日（土）午後2時～

場所：洞爺湖芸術館 2階ビエンナーレ展示室

料金：無料（要入館料）

定員：50名（先着順）



酒井 忠康 氏 略歴

1941年北海道生まれ。慶應義塾大学文学部卒業。
1992-2004年 神奈川県立近代美術館館長。
2004年から世田谷美術館館長、現在に至る。
著書多数。

常設展示



国際彫刻ビエンナーレ作品

◎交通案内

【バス】札幌駅バスターミナルより洞爺湖温泉行き「洞爺水の駅」下車徒歩3分

【車】札幌から230号線約2時間、室蘭から37号線約1時間20分